

平成30年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校運営方針		知・徳・体の調和的発達を図り、明朗で礼儀正しく自らを律し、国家・社会に貢献できる有為な人材を育成する。		評価(3月)
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標	A
国語・数学・英語で学習到達目標を設定し、単元毎に生徒に「学習の目当て」を明示し、生徒に自己の学習目標を設定させて学ぶ意欲を高めることができた。また、単元終了後に学習到達度アンケートを実施し、生徒の授業理解度と教員の授業課題を把握することで、授業改善点を明確化し、「わかる授業」の推進を図ることができた。本年度は、学習到達目標の設定及び学習到達度アンケートを全ての教科で実施することにより、「主体的・対話的で深い学び」を推進し、思考力、判断力、表現力の育成をさらに図る。また、九州北部豪雨災害からの復興に関わることで、地域の発展と伝統や文化の保存について学ばせ、自己有用感を高めながら、豊かな人間性の育成を図る。	1 確かな学力を身に付けさせ学ぶ意欲を向上させる。	(ア) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 (イ) 授業を大切にしている態度の育成と学習習慣の確立 (ウ) インターンシップ、ジョブシャドウイング等のキャリア教育の充実 (エ) 簿記、情報処理、英検、漢検等の資格取得の推進 (オ) 生徒を引き付けるための授業改善と適度な分量の課題や宿題	(ア) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 (イ) 授業を大切にしている態度の育成と学習習慣の確立 (ウ) インターンシップ、ジョブシャドウイング等のキャリア教育の充実 (エ) 簿記、情報処理、英検、漢検等の資格取得の推進 (オ) 生徒を引き付けるための授業改善と適度な分量の課題や宿題	
	2 豊かな人間性と品格の育成を目指し、自尊感情と規範意識を向上させる。	(ア) さわやかな挨拶や身だしなみなど礼節指導の徹底 (イ) 清掃活動の徹底 (ウ) 公共の場におけるマナーの徹底と集団としての規則やルールの遵守 (エ) 道徳教育の推進 (オ) 人間関係調整能力の育成	(ア) さわやかな挨拶や身だしなみなど礼節指導の徹底 (イ) 清掃活動の徹底 (ウ) 公共の場におけるマナーの徹底と集団としての規則やルールの遵守 (エ) 道徳教育の推進 (オ) 人間関係調整能力の育成	
	3 健やかな体と健全な心を育成する。	(ア) 安全で効率の良い部活動の推進 (イ) 生徒の成長を促す学校行事の実施 (ウ) 生徒同士の教育力を高める生徒会活動の推進 (エ) いじめや問題行動の未然防止と早期発見、組織的対応の徹底 (オ) 個人面談等を利用した生徒理解と情報共有の徹底	(ア) 安全で効率の良い部活動の推進 (イ) 生徒の成長を促す学校行事の実施 (ウ) 生徒同士の教育力を高める生徒会活動の推進 (エ) いじめや問題行動の未然防止と早期発見、組織的対応の徹底 (オ) 個人面談等を利用した生徒理解と情報共有の徹底	
	4 広報活動を充実させ本校の魅力を外部に発信する。	(ア) PTA、同窓会、地域との連携や交流 (イ) 地元企業との連携による商品開発 (ウ) 地域住民対象公開講座の実施 (エ) 広報誌の内容充実と地域への配布 (オ) 地域ボランティア活動に積極的に参加するなど生徒の活用	(ア) PTA、同窓会、地域との連携や交流 (イ) 地元企業との連携による商品開発 (ウ) 地域住民対象公開講座の実施 (エ) 広報誌の内容充実と地域への配布 (オ) 地域ボランティア活動に積極的に参加するなど生徒の活用	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題

確かな学力を身に付けさせ学ぶ意欲を向上させる。	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得	予習を含め、生徒に授業の準備をきちんとし、ノート指導等もこまめに行う。 長期休業中や考査前の補充授業で、授業内容の振り返り・補習を行い、学力向上を図る。	B B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な課題等を出したことにより、家庭での学習時間が伸びてきている。次年度も、継続して生徒の学力を伸長を図る。 ・文部科学省の基礎学力定着事業は今年度で終了するが、今後も、より「わかる授業」「生徒の力をつける授業」「魅力的な授業」の実現を目指し、PDCAサイクルにより授業改善を図る。 ・授業や総合的な学習(探究)の時間や特別活動等において、自分の意見等をできるだけ原稿なしで堂々と述べられるような指導を増やし、生徒に経験を積み、努力しながら、プレゼンテーション能力を高める。 ・来年度は、資格取得はもちろんのこと、小論文コンクールや英語スピーチコンテストなどに積極的に参加させ、自信を持たせると同時に、自己肯定感の向上に努める。
	授業を大切にしている態度の育成と学習習慣の確立	家庭学習時間調査をとおして学習に努力を重ねている生徒を労ったり、学習方法で工夫している点を認めることで、学習意欲の向上を図る。 教員各々が、より「わかる授業」を目指し、工夫・準備を十分に行い、毎時間の授業を大切にしている。	A A		
	インターンシップ、ジョブシャドウイング等のキャリア教育の充実	IS・JSに積極的に参加させ、望ましい職業観・勤労観を育成する。 社会人や生徒同士の触れ合いをとおして、人格形成の機会とする。	A A		
	簿記、情報処理、英検、漢検等の資格取得の推進	簿記や情報処理のスキルアップを図り、社会人として即戦力となれる人材を育成する。 英語・漢字検定等を奨励し、知識を身に付けさせ、就職試験や入試においても活用させる。	A B		
	生徒を引き付けるための授業改善と適度な分量の課題や宿題	学習到達目標及び達成度アンケートを中心とした授業改善のPDCAサイクルを機能させる。 Classi等を通じ週末課題等を出すことにより、家庭学習の充実を図る。	A A		
豊かな人間性と品格の育成を目指し、自尊感情と規範意識を向上させる。	さわやかな挨拶や身だしなみなど礼節指導の徹底	教育活動全体を通して、礼法指導を推進していく。 教育活動の中で、その場面にふさわしい服装や態度ができるように指導する。	B B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の生徒に服装の乱れがあり、遅刻指導と合わせて教務部と指導実施した。また、休み時間に生活班で指導実施した。今後も、挨拶の励行を推進する。 ・文化発表会を文化祭に変更したことで、戸惑う部分が多かったが、来客の評価は高かった。今後も定着・充実させていく。 ・生徒会・各委員会の活動を積極的に推進し、生徒が前面に出る機会を増やし自己有用感を育成する。
	清掃活動の徹底	美化コンクール等を通して、清掃活動の大切さを意識づける。 日頃の清掃活動において、清掃の意味を考えさせ、心の成長を促す。	B B		
	公共の場におけるマナーの徹底と集団としての規則やルールの遵守	登下校時の指導を組織的に実施し、生徒の公共のマナー指導と安全確保を推進する。 講演会等を通して、情報モラルや交通ルール等の大切さを理解させ、規範意識の向上に努める。	B B		
	道徳教育の推進	人権教育やホームルーム活動等を通して、他者を思いやる心の醸成に努める。 教育相談を充実させ、生徒の個性を尊重し、人間的成長を図る。また、関係機関と連携し支援する。	B A		
	人間関係調整能力の育成	学校行事等の体験を通して、クラスや他学年と交流し、他者を思いやる心を育成する。 諸活動の中で協調性や仲間づくりの大切さを考えさせ、お互いを認め合うことの素晴らしさを体験させる。	B B		
健やかな体と健全な心を育成する。	安全で効率の良い部活動の推進	定期的な安全点検や休日の確保、部活動への自主的な加入を促すことを推進する。 部長会及び部活動全体集会を定期的に開き、リーダー育成や部活動の活性化に努める。	A B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の部活動入部率は、8割を超え大変良かった。今後も積極的な入部を促す。一方で、部活動に参加しなくなった生徒への対策が必要である。 ・部活動休養日を設定することにより、効果的な運営ができたので今後も推進していく。 ・部長等を中心に、定例会議や心肺蘇生法等の実習を行いリーダーとなる生徒を育成する。 ・学校行事をはじめ、教育のあらゆる場面で他者を思いやる態度を育成し、いじめが起きない、いじめを許さない集団づくりに取り組む。 ・公共の場でのマナーについては、集会等で継続して指導していく。 ・今後も警察署等の関係機関と連携していく。
	生徒の成長を促す学校行事の実施	文化祭・体育祭では、生徒会を中心に企画・運営の機会を増やし、全校生徒の自己有用感を高める。 文化祭を充実した内容にし、それぞれの課題を解決しながら達成感を味わわせる。	A A		
	生徒同士の教育力を高める生徒会活動の推進	生徒会が中心となり、学校全体で様々な取り組みを実践することで、生徒の主体性を育てる。 日頃の委員会活動を大切に、生徒会と連携しながら学校の活性化に努める。	B B		
	いじめや問題行動の未然防止と早期発見、組織的対応の徹底	アンケート調査や個人面談等により、いじめの早期発見と組織的な早期対応に努める。 教科指導、ホームルーム活動等において、いじめが起きない、いじめを許さない集団作りを育成する。	B B		
	個人面談等を利用した生徒理解と情報共有の徹底	長期休業等の後に面談週間を設け、生徒の変化の早期発見と諸問題の未然防止に努める。 特別な支援を必要とする生徒に関して教育相談委員会等で対応を協議し、教員間で情報共有をする。	B A		
広報活動を充実させ本校の魅力を外部に発信する。	PTA、同窓会、地域との連携や交流	PTA総会・役員会の開催内容の検討と企画・運営を補佐し、保護者の本校の教育活動に対する理解を図る。 PTAと連携し、PTA新聞の内容を充実させ、広報活動に生かす。	A A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の参加者を増やすために、開催内容の検討や運営方法を改善する。 ・広報活動については綿密に計画し、本校の情報をできるだけ速やかに中学生をはじめ地域に伝え、本校の教育活動を理解していただけるように取り組む。 ・小学生対象のプログラミング教室では本校の生徒が丁寧に児童を指導することができ、好評であった。来年度も引き続き、取組を継続する。 ・様々なボランティア活動に積極的に参加することができた。来年度は用意されたボランティアのみでなく、本校から発信できるものを考えていく。
	地元企業との連携による商品開発	「商品開発」の授業を中心に、新しい商品を作り出すためのノウハウを学び、実践に繋げる。 「課題研究」の中で、地元企業と連携しながら、本校の魅力を引き出す新商品作りに取り組む。	A A		
	地域住民対象公開講座の実施	小学生対象プログラミング講座を実施し、本校の教育活動の魅力をアピールする。 日頃の地域の方との交流の中で、地域のニーズを探り、今後の講座開設へと活用していく。	A A		
	広報誌の内容充実と地域への配布	中学校や地域のニーズを把握し、より充実した広報誌の作成に努める。 計画的かつ積極的な広報活動に努め、中学生をはじめ地域に本校の教育活動の理解を図る。	B B		
	地域ボランティア活動に積極的に参加するなど生徒の活用	「課題研究」の中で、地域の復興に貢献する取組を企画・実施し、地域に根差した活動を行う。 地域の要請にきめ細やかに対応し、全校生徒による積極的なボランティア参加を推進する。	A A		